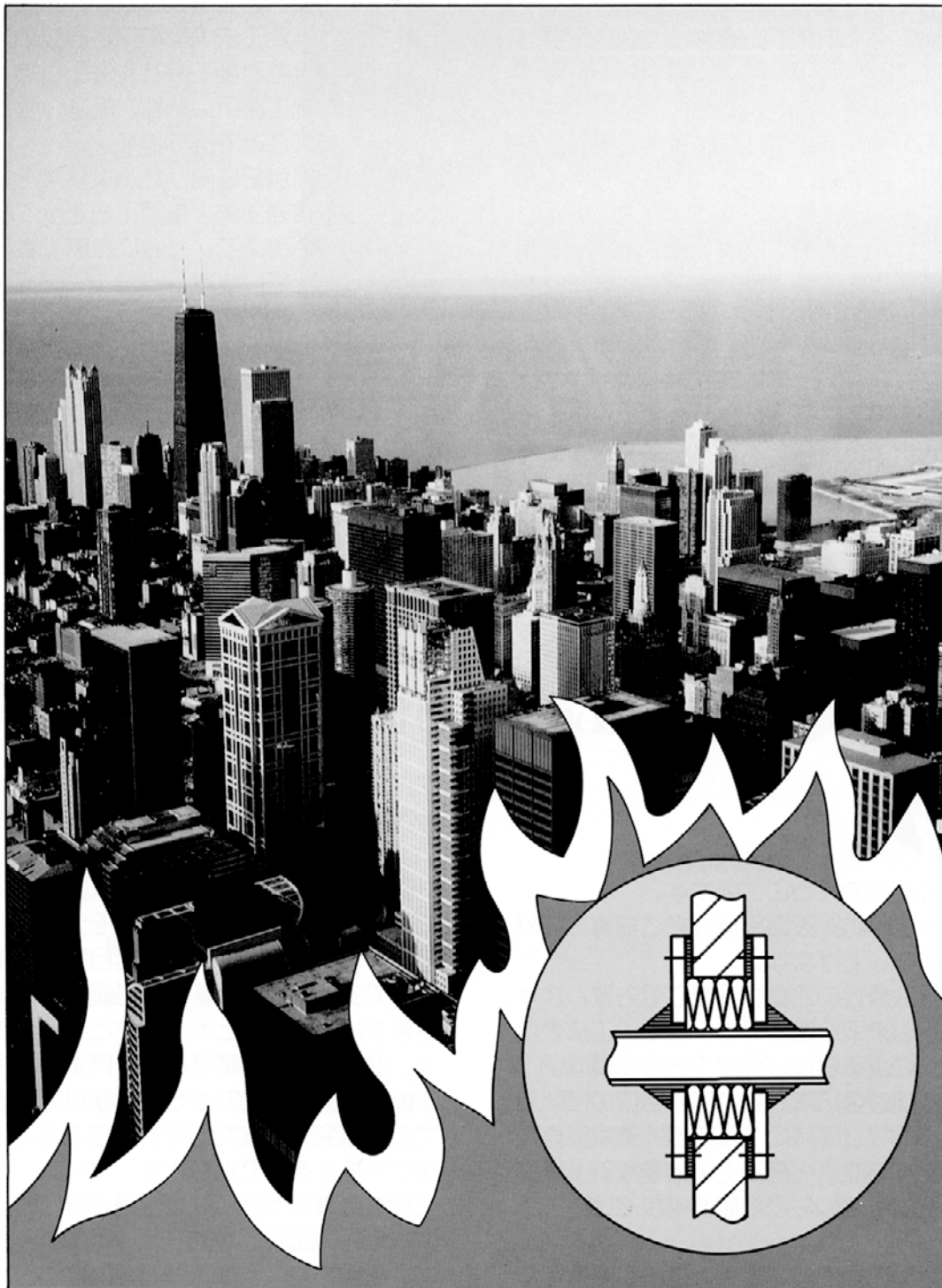


# 会報

No. 3  
1995.1

CFAJ(Cable Firestop Systems Association of Japan)



ケーブル防災設備協議会



## 年 頭 挨拶

会 長 橋 場 弘 道

明けましておめでとうございます。

清々しい平成7年の年頭に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

昨年のわが国経済は、個人消費にようやく回復の兆しがみえてまいりましたが、民間の設備投資は依然として低迷を続け、さらに円高や雇用の問題が深刻になるなど、景気回復には程遠い厳しい状況が続きました。

明けて平成7年を迎え、景気は緩やかながらも回復過程を迎るとの見方が一般的であります。当協議会の仕事に係るビル等の建設は低迷が続くものと予想されます。

従ってケーブル区画貫通部防火措置工法の工事量も減り、厳しい価格競争のなかにおかれるものと思えます。

このような経済状況のなかにあつて、今年は次の三点の目標を掲げていきたいと思えます。

まず第一に、当協議会の設立の目的でありました、BCJ評定工法の評定内容通りの施工を励行し評定取得会社と施工会社を併記した「工法表示ラベル」を施工箇所に貼り、施主、管理者にご安心をいただくこととあります。

第二は、21世紀に向けた防災事業を担うため、現在の区画貫通部防火措置工法だけでなく、新しい火災対策も考えて、社会に貢献できる道を拓いていきたいと思えます。

第三は、国内の市場開放、規制緩和、国際化という流れから、ケーブル等の火災対策の技術や運用について、関係者と調査、研究していきたいと存じます。

最後になりましたが、皆さまのお仕事のますますの隆盛並びにご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。



## 最近の活動状況

技術委員会委員長 小 出 洋 一

あけましておめでとうございます。

本年もケーブル防災設備協議会をご指導、ご鞭撻の程お願い申し上げます。

さて、協議会最近の活動状況をご報告致します。

協議会発足以来取り組んでおります「工法表示ラベル制度」によるBCJ評定工法の品質向上、という会員の地道な日常活動が広く各位のご認識を得るところとなり、特に'94年版「東京都建築設備行政に関する設計・施工上の指導指針」には、施工の完了標識例としてご掲載頂くまでになりました。

当協議会活動に対するご理解に深く感謝致しますと共に会員一同、これを励みに「正しいBCJ評定工法の普及」に一層努力していく所存でございます。

昨年10月に開催された「東京国際消防防災展」では、全会員18社の代表工法モデルを展示して、多くのご来場の方々に、日常目にする事のできない所で安全に役立っている区画貫通部防火措置の意義を認識頂くことができたと考えております。又、改正された建築基準法、同法施行令が区画貫通部防火措置に関与する所を学びながら、これまでの協議会の経験を加えて「Q & A」の改定作業を引き続き進めております。

標準化事業としては、'93年度に制定した耐熱シール材の試験標準を基に、「同シール材の規格化」を進めています。

又今後一層皆様のお役に立てるよう活動する為に、会則を改定して協議会の組織・運営の充実をはかる事を進めています。

Q：耐火構造とは？

A：鉄筋コンクリート造りの床、壁等の様に火に対して丈夫で構造耐力の低下の少ない構造をいいます。  
(建築基準法第2条第七号、同法施行令第107条)

## 〔トピックス〕

# FF '94に出展 — 大好評を博す —

東京消防庁は、『2001年消防—安全へのかけ橋』をテーマに、10月18日(火)～22日(日)まで5日間にわたって、『ファイアセーフティ・フロンティア '94』を開催しました。

当協議会は、東京晴海の東京国際見本市会場で行われた『東京国際消防防災展』に出展しました。

期間中は連日約4万人の入場者があり、当協議会の展示ブースは、会場の入口という地の利もあり大盛況となりました。

展示ブースには今回初めての試みとして、会員18社の代表的な工法模型を一堂に集め展示しました。又、会員各社のカタログも当協議会の案内等と一緒に一冊のファイルセットを作成し配布致しました。

これは、消防関係の方々をはじめ来訪者の皆様の反響も大きく当協議会の活動を広くPRすることができました。

更に、当協議会の展示が大好評であったので、東京消防庁FF '94推進本部の多田消防司令長殿より、東京消防庁の消防安全の確保に対するご決意とともに当協議会活動に対する高い評価と激励のお言葉をいただきました。(石川 記)

東京消防庁 総務部副参事

消防司令長 **多田 旭**

(社)東京国際見本市協会と共催により開催した東京国際消防防災展は、15カ国から328の企業、団体からの出展があり、5日間で19万5000人の来場者がありました。

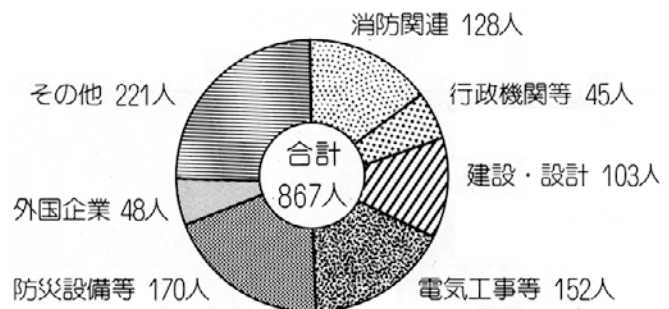
行政と消防防災関係企業、団体が一体となった本展示会は、東京国際消防会議と共に成功裡に開催することができました。

あらためて出展協力していただきましたケーブル防災設備協議会の皆様方に感謝申し上げます。

さて、東京消防庁では都民による参加体験型の



(ケーブル防災設備協議会展示ブース)



ケーブル防災設備協議会ブースへの来訪者内訳  
(カタログ配布者数)

行政施策展示と消防活動技術展示を展開しましたが、貴協議会をはじめとする各出展者の最新の消防防災設備や機器の紹介、展示と共に、世界各国の会議参加者をはじめ、多くの方々にとって価値ある情報の交換や交流がされたことと確信しております。

今後も、東京消防庁は、皆様方とともに「災害に強く、安心して住める安全なまちづくり」をめざして、都民の消防安全の確保のために、たゆまぬ努力を続けたいと思っております。

Q：防火構造とは？

A：鉄網モルタル塗、しっくい塗等の構造で木造建築の外壁や火の着きやすい軒裏の防火措置として考えられたものです。(建築基準法第2条第八号、同法施行令第108条)

## ◇施工管理と工法表示ラベルについて

BCJ 評定工法による防火措置を実施する際、当協議会では、使用材料の品質と適正な施工を確保するため下記の「工法表示ラベル」を使用しています。

この「工法表示ラベル」は、一定条件を満たした時に個々の評定取得者より発行し、評定番号、評定取得者名と共に施工会社名を表示し、施工箇所の見やすい位置に貼ります。

**ケーブル貫通部の防火措置工法**  
 評定番号 BCJ-防災-〇〇〇  
 評定取得会社 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇  
 施工会社   
 施工年月 年 月  
再施工される場合は、この「工法表示ラベル」を剥がし新しい「ラベル」に貼り直して下さい。

ケーブル防災設備協議会

ケーブル用  
 (枠と評定番号は赤色)

**バスダクト貫通部の防火措置工法**  
 評定番号 BCJ-防災-〇〇〇  
 評定取得者 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇  
 施工会社   
 施工年月 年 月  
再施工される場合は、この「工法表示ラベル」を剥がし新しい「ラベル」に貼り直して下さい。

ケーブル防災設備協議会

バスダクト用  
 (枠と評定番号は緑色)

会  
 大 淀 化 工 株 式 会 社  
 昭 和 電 線 電 纜 株 式 会 社  
 住 友 ス リ ー エ ム 株 式 会 社  
 タ ッ タ 電 線 株 式 会 社  
 東レ・ダウコーニング・シリコーン株式会社  
 西 日 本 電 線 株 式 会 社  
 日 本 イ ン シ ュ レ ー シ ョ ン 株 式 会 社  
 株 式 会 社 フ ジ ク ラ  
 三 菱 電 線 工 業 株 式 会 社

員  
 原 電 工 事 株 式 会 社  
 新 日 鐵 化 学 株 式 会 社  
 住 友 電 気 工 業 株 式 会 社  
 寺 崎 ネ ル ソ ン 株 式 会 社  
 ト ヨ ク ニ 電 線 株 式 会 社  
 日 東 化 成 工 業 株 式 会 社  
 日 立 電 線 株 式 会 社  
 古 河 電 気 工 業 株 式 会 社  
 矢 崎 総 業 株 式 会 社